

会 議 名	平成 29 年度第 3 回浜田自治区地域協議会
日 時	平成 29 年 11 月 30 日（木）15 時 00 分～16 時 05 分
場 所	浜田市役所 本庁 4 階 講堂 A B
出 席 者	委 員 12 名（欠席者 3 名） 市 9 名（事務局 2 名を含む） 詳細については裏面のとおり
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 浜田自治区長あいさつ 3 村井会長あいさつ 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 浜田駅前広場整備事業計画について (2) 水道料金の改定について 5 その他 6 閉会
会議資料	別紙のとおり

出席者名簿

地域協議会

NO	氏名	役職	出欠	備考
1	井戸 静志	副会長	出席	
2	沖田 敏子		出席	
3	細川 良一		出席	
4	肥塚 由美子		出席	
5	山下 秀子		欠席	
6	滝本 武夫		出席	
7	高村 行延		欠席	
8	宮田 弘		出席	
9	竹山 勝彦	副会長	出席	
10	宮下 義重		出席	
11	田子 ヨシエ		出席	
12	原田 豊		出席	
13	村井 栄美子	会長	出席	
14	平野 公望		出席	
15	齋藤 信義		欠席	

浜田市出席者

NO	氏名	所属
1	近重 哲夫	副市長（浜田自治区長）
2	岡田 泰宏	地域政策部長
3	鎌田 祐二	都市建設部 建設企画課 都市計画係長
4	河野 正雄	上下水道部長
5	坂田 歩	上下水道部 管理課長
6	湯井 隆樹	上下水道部 管理課 管理第一係長

事務局

NO	氏名	所属
1	邊 寿雄	地域政策部 まちづくり推進課長
2	上野 晃	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係長
3	福間 裕介	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係 主任主事

(開会 15時00分)

冒頭、事務局から先日開催された臨時議会において、近重副市長が再任されたことを受け、浜田市
自治区設置条例第8条により近重副市長が引き続き浜田自治区長となることを報告

1 あいさつ

- ①浜田自治区長 (近重副市長)
- ②浜田自治区地域協議会 会長 (村井会長)

2 議題

(1) 浜田駅前広場整備事業計画について

【経過】

(建設企画課 鎌田都市計画係長)

資料をもとに説明

【質疑応答】

(細川委員)

現在、駅前の駐輪場をパトロールをしている。整備後、駐輪場はどの辺りに整備されるのか。

(都市計画係長)

駐輪場は、整備期間中は現在のホテルを解体したエリアを一時的な駐輪場とし、最終的には新しく
建設するホテルの立体駐車場1階に確保する予定

(細川委員)

駅前駐車場はどうなるのか

(都市計画係長)

浜田市の駅前駐車場が来年2月1日に無くなる予定。今後は、民営駐車場に停めていただくように
なる。現状の料金体系は2年程度継続していただくように協議している。

(宮田委員)

市営駐車場がある用地はコガワ企画に売却するのか

(都市計画係長)

全てではないが、一部を残して売却する。

(宮田委員)

まちづくりの観点から意見を言わせてもらおうと、ホテルの玄関は駅のほうに向けたほうがいいので
はないか

(都市計画係長)

市の方でホテル側が設計したものに意見をすることができない。

(宮田委員)

設計に関して市のほうから何か条件があったのではないか

(都市計画係長)

市のほうからホテルの設計について条件は出していない。

(宮田委員)

まちづくりの観点から言わせてもらおうと、このレイアウトはよくないと思う。

(浜田自治区長)

物理的に難しい部分もあるのかもしれないが、駐車場は利用しやすくなる。

今までは、浜田駅前の全体的な整理がなかなか出来ていなかったが、交通体系も含めてこの際整理
したい。

(細川委員)

新しいホテルに宴会場は作られるのか

(都市計画係長)

宴会場は設けないとのこと。1階には食事ができる店舗をつくるとのこと。

(肥塚委員)

市営駐車場がなくなると言われたが、車は何台止められるのか

浜田市は駐車場が少なくて困る。

(都市計画係長)

コガワ企画さんの計画書を見ると、三階建て4フロアの立体駐車場で、普通車113台バイク30停めることができるようになっている。

現在パーク&ライドとして、JRが20台市から借りているが、今後、JRが自前で駐車場を確保できるか等必要台数も含めて調査中であり、不足するようであればコガワ企画と調整することになると思う。

(宮田委員)

まあ今の時代、「駐車場はタダ」だという考えを変えないといけない。

(原田委員)

構想図にあるからくり時計周辺のぎざぎざは何か

(都市計画係長)

植栽をイメージしている。

(浜田自治区長)

現在の構想図はあくまでの案なので、このとおりに実施するという事はない。

(沖田委員)

現在のホテル前の道路が狭いが、整備後は広がるのか

(都市計画係長)

広がる。右折レーンを整備する予定。

(2) 水道料金の改定について

【経過】

(河野上下水道部長、坂田管理課長)

資料をもとに説明

(岡田地域政策部長)

水道料金値上げの激変緩和措置として、一般会計から約5億3千万円の繰り入れを考慮しており、その一部に地域振興基金を1億円程度活用したい旨を説明

基金の活用については、各自治区の地域協議会に協議をしていただくこととしているので、浜田自治区においても今回、協議していただきたいことをお願いした。

【質疑応答】

(細川委員)

簡易水道の補助金がなくなったのなら簡易水道で賄えばいいのではないのか

なぜ簡易水道の料金が下がって上水道の料金があがるのかが理解できない。

(上下水道部長)

国が上水道と簡易水道を統合しなさいという方針を出した。

統合したら簡易水道という形態はなくなる。全て上水道に統一ということになるので全てを水道料金で運営するということになる。浜田自治区も約40億円借金をしながら水道の整備をしてきた。簡易水道も約60億円借金をしながら整備をしてきた。合計100億円になるが、この借金を返しながら

ら運営をしていかなければならない。そのためにも水道料金の値上げをして安定した運営を行う必要がある。また、浜田自治区の水道管の更新も今後進めていかなければならず、その費用も含めてこういった料金を設定している。

(細川委員)

統合ということであれば、料金は市内統一ということにすべきである。

(上下水道部長)

平成 32 年 10 月で市内統一の料金になる。

(竹山委員)

将来的に数世帯しかない地域に対する水道供給を維持できるのか

受益者負担という考え無いか

(坂田課長)

水道を供給していくためには、管の更新というのがどうしても必要となるが、その場合、必要なものから、古くなってきたものから整備しないといけない。ただ、その際、これから先、人口が少なくなっていくなかで、必要性や採算性等を整理した上で工夫して運営をしていく。

(浜田自治区長)

旧浜田市内でも未給水地域もある。ただ、水道というのはライフラインなので、採算性の無い地域でも給水をするのかどうかは政策的な判断になる。

【採決】

村井会長が水道料金値上げに対する激変緩和措置として地域振興基金を一部拠出することについて委員に諮ったところ、参加委員の拍手を持って承認された。

3 その他

地域協議会次期委員の推薦について

(上野地域づくり推進係長)

委員の皆様の任期が今年度いっぱいであるため、浜田市連合自治協議会を通じて委員の選任をお願いしたいと思う。

(委員全員)

了解した。

(閉会 16 時 05 分)